

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 6年 1月 31日
住 所 川口市川口4-2-3
県内企業等の名称 だしダイニング楓
代表者役職氏名 代表 田口 舞純

だしダイニング楓

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たちの経営理念である「*心と身体が満たされる食を提供致します。*働く喜びを見出し自ら向上しようとする人を応援します。*地域と一丸となり伝えていきたい味を守ります。」に基づいて行動し、お客様ひいては地域社会の発展に貢献する。従業員ひとりひとりが真摯に事業活動に取り組むことにより、SDGs達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	調理方法や提供方法を工夫することで、食品ロス等により発生する食品廃棄量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> 食品廃棄量:4,500kg/年	<2030年に向けた指標> 2,700kg/年 2022年比 40%削減 <取組開始3年後に向けた指標> 3,600kg/年 2022年比 20%削減
社会	地産地消を推進するとともに地域の魅力を発信するため、埼玉県産食材の割合を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 仕入れに占める埼玉県産食材の割合:25% (埼玉県産食材数10品目/全体の食材数40品目)	<2030年に向けた指標> 50%(埼玉県産食材数20品目/全体の食材数40品目) <取組開始3年後に向けた指標> 30%(埼玉県産食材数12品目/全体の食材数40品目)
経済	フェアトレード商品のメニューを開発し取扱量を増やす。また、地域事業者から仕入れや発注を行い、地元経済の好循環を図る。 <(現状値)2022年の数値> ①フェアトレード商品使用割合:0%(フェアトレード商品食材量0kg/全体の食材量60kg) ②地域事業者との取引数:5件	<2030年に向けた指標> ①100% ②10件 <取組開始3年後に向けた指標> ①50% ②7件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。